金木だより

発行所　青森県金木町役場
編集企画室

防犯・交通安全標語

◎歩く身に乗る身になっておもいやり
◎飲むな、眠るな　無理するな
◎うちの子に限ってと思う心にスキがある
◎暗がりをなくして越そう年の瀬を

各種台帳が一本化

支所の戸籍事務が役場へ

新しく住民基本台帳法ができ、これまでの住民票、選挙人名簿、国民年金、国民健康保険、米の配給の各台帳が一本化されます。

これまでと違って、住所を移すことによって心要としたいろいろな届け出が一つで済むことになります。

これに伴い、十一月十七日から、嘉瀬、喜良市支所の戸籍、住民登録事務が役場へ移りましたので、嘉瀬喜良市の方で、戸籍謄本や住民票の抄本をもらう時は役場へ直接来るか、支所へ申し込み（この場合は翌日発行）して下さるようお願いします。

昭和42年度共同募金目標額

町内別の目標額が下記のとおり決まりました。1世帯平均90円の額になりますが、行政協力員が募金のお願いにおじゃました時はよろしくお願い申し上げます。　— 民生課 —

金木地区

町内名	世帯数	目標額
本町	45	4,050円
栄町	50	4,500
田町	39	3,510
南新町	80	7,200
上山道町	69	6,210
中山道町	42	3,780
下山道町	61	5,490
昭和町	51	4,590
神明町	75	6,750
朝日町第1区	60	5,400
朝日町第2区	50	4,500
北新町	28	2,520
小川町1区	80	2,700
小川町2区	27	2,430
米町	64	5,760
川端町	28	2,520
寺町	35	3,150
芦野	44	3,960
浦町	43	3,870
新富町	65	5,850
若松町上	34	3,060
〃〃中	30	2,700
〃〃下	34	3,060
見崎町	32	2,880
三軒町	40	3,600
上沢部	46	4,140
下沢部	38	3,420
上蒔田	30	2,700
下蒔田	52	4,680
神原	31	2,790
上藤枝	17	1,530
中藤枝	22	1,980
下藤枝	16	1,440
湯の川	39	3,510
林町	40	3,600
向町	33	2,970
女坂	37	3,330
上宇田野	43	3,870
下宇田野	27	2,430
大東ケ丘	27	2,430
計	1,654	148,860

嘉瀬地区

町内名	世帯数	目標額
上中柏木	31	2,790円
下中柏木	42	3,780
東町	46	4,140
上小栗崎	36	3,240
中小栗崎	31	2,790
下小栗崎	33	2,970
上派立	25	2,250
中派立	28	2,520
下派立	36	3,240
上新町	32	2,880
下新町	35	3,150
上昭和町	32	2,880
下昭和町	35	3,150
本町	33	2,970
冷水	33	2,970
車町	31	2,790
畑中	35	3,150
後町	33	2,970
下古町	44	3,960
上古町	30	2,700
新堤町	29	2,610
上鍛冶町	20	1,800
下鍛冶町	31	2,790
計	758	68,220

喜良市地区

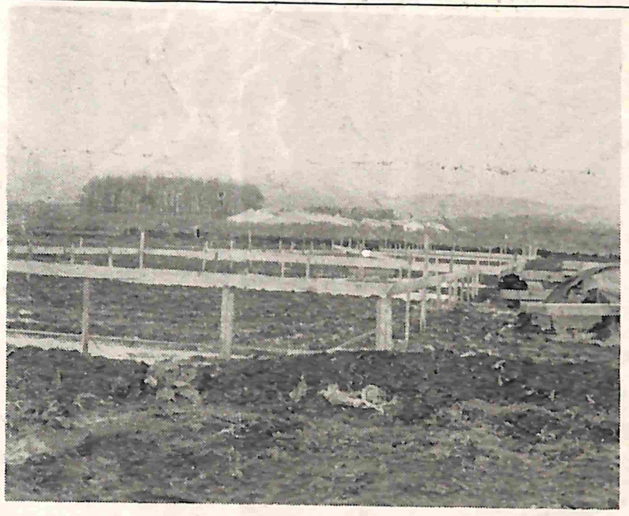
町内名	世帯数	目標額
更生部落	42	3,780
東岩見町	58	5,220
西岩見町	53	4,770
林町	35	3,150
野崎	32	2,880
北本町	32	2,880
南本町	46	4,140
下派立	35	3,150
上派立	40	3,600
双葉町	54	4,860
下柏木	27	2,430
上柏木	35	3,150
下町	38	3,420
川端町	32	2,880
計	559	50,310

特定住宅団地造成計画

四年で百二十四戸建設

今年度分二十八戸は着工

金木町では住宅難解消のため今年度から四か年計画で百二十四戸の特定住宅団地を造成することになり、第一年度の工事にとりかかりました。



【特定住宅団地の工事現場】

特定住宅団地とは、今までのように、あちこちに散在する建て方でなく、一か所にまとめて住宅を建築するもので、国の補助条件もこれまでのものより有利になっています。

場所は金木農協の育すうセンターの手前約二百メートルの地点で、計画によると、総建築戸数百二十四戸必要敷地二ヘクタール総事業費概算一億九十万円となっています。

年度別建築戸数はつぎのとおりです。（カッコ内は事業費概算）。昭和四十二年度二十八戸（二千万円）昭和四十三年度三十戸（二千四百二十万円）昭和四十四年度三十戸（二千五百七十万円）昭和四十五年度三十六戸（三千百万円）。

今年度の分はすでに津軽住宅、松橋建設、新岡工務店の手で進められており、年度内に完成の予定です。

ただ、今後の課題としては、まだ完了していない敷地の取得が残されており、町では、これに全力をあげることにしています。

永年勤続者を表彰

— 金木町商工会 —

金木町商工会と労務対策協議会では去る十一月三日午前十時から青年研修所で昭和四十二年度各事業所の永年勤続者の表彰式を行ないました。

表彰された方の氏名はつぎのとおりです。

▽二十年＝葛西喜代志（小笠原製草所）瓜田良之進（又一製材所）松江文雄（同）

▽十五年＝白川理一（白川製材所）木村好光（須藤呉服店）五代儀紀男（大橋製材所）白川昭次（秋元製材所）菊地鉄雄（菊地製作所）

▽十年＝田中宇一郎（工藤製材所）近村正義（秋元製材所）田中武明（同）白川昭磨（北川本店）石戸谷末五郎（尾野病院）成田ユキ（同）丸山清松（木村製材所）木村武（同）藤元栄治（同）白川柾弘（同）工藤節子（松野美容院）

▽五年＝白川敬（尾野病院）丹場キセ（同）角田誠一（前田運送）山中一博（松山呉服店）瓜田萩枝（オサナイ洋品店）工藤イヨ（金木木材）中野治（丸キうどん店）小野久五郎（田村商店）白戸てつ子（松野美容院）坂田和子（同）相馬康躬（浜屋商店）山形鉄雄（同）成田幸子（同）吉村信江（又一製材所）岩間清作（あしの観光）今政市（同）吉田春義（長多木工所）津島修治（日新木材）大島光男（同）荒井サダ（工藤製材所）上野兼孝（同）工藤孝（同）三上勲（同）白川義正（秋元製材所）岡本ハギ（同）丹場ミヱ（同）沢田ツナ（同）桑田喜策（丸兵製材所）田中昭治（同）榊進（中谷自動車）木村栄蔵（同）

【永年勤続者の表彰式】

苗木の申込み

昭和43年春期造林用苗木ご入用の方は11月30日まで産業課までお申込み下さい申し込みの際は苗木代金の半額を予納金として納入して下さい。また、植林地の地番もお知らせ願います。　—産業課—

苗木の価格はつぎのとおりです。

こばはん	2年大	1本	5円80銭
杉	3年特大	1本	12円30銭
〃	3年大	1本	11円80銭
〃	3年中	1本	10円80銭
赤松	3年大	1本	6円
〃	3年小	1本	5円30銭
唐松	3年大	1本	6円
〃	3年小	1本	5円30銭

十四万箱が落果

台風三十四号の被害

十月二十八日の台風三十四号で金木町のりんごも大きな被害をうけました。産業課の調らべによると、二百ヘクタール（町歩）のほとんどが被害をうけ、ひどいところでは八十%以上も落果したところもあるということです。

町全体では十四万箱の落果があり、その被害額は七千万円にのぼるものと見積もられています。

県議会農林常任委員会の花田委員長、千葉委員、佐々木（啓）県議らの一行十五名は、去る十一月二日、三上町長の案内で川倉地区の被害状況を視察し、被害の予想外に大きいことに驚きなんらかの対策を講じなければならないと語っていました。

【落果状況を視察する一行】

戸籍の窓口

出生と死亡

（九・十月届出分）

生まれた人

☆白川力（強　2男）沢部
☆黒滝博己（清　長男）蒔田
☆泉谷成子（和磨　長女）川倉
☆白川猛（博　長男）朝日町
☆松尾忠則（義道　長男）新富町
☆秋谷孝子（正一　4女）朝日町
☆楠美公一郎（孝夫　長男）本町
☆秋谷洋子（孝　2女）山道町
☆角田若十（由美　長女）山道町
☆田中千秋（長作　3女）山道町
☆斎藤彦人（則昭　長男）三軒町
☆外崎敦子（年一　2女）沢部
☆安田強（勝雄　長男）北新町
☆原田勝利（武美　長男）上鍛冶町
☆舛甚満（頼壮　長男）新誠町
☆高杉知江（利彦　長女）本町
☆藤田佳子（勉　長女）中柏木
☆鳴海美歌（秀次　長女）畑中
☆伊藤みはる（実徳　長女）上小栗崎
☆秋谷友行（信弘　2男）南本町
☆鳴海一哉（正司　長男）岩見町
☆三上浄司（圭山　2男）北本町
☆近藤睦子（仁　2女）下派立
☆桑田佳織（豊一　4女）岩見町

死んだ人

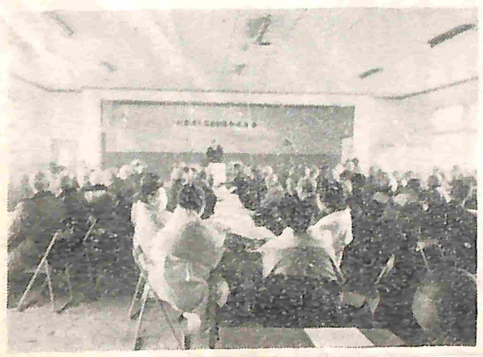
★長谷川民次郎（五七）山道町
★若宮武智栄（五七）蒔田
★川口サキ（五四）神明町
★丹場兼四郎（四九）浦町
★中谷オミ（八四）川倉
★松川純子（二）上小栗崎
★津田与八（六三）新誠町
★須崎健二（三一）新誠町
★棟方清三郎（七二）野崎
★坂田豊三郎（五二）岩見町
★今作十郎（六一）川端町

高橋さんが会長に

北部老人クラブ総会

北部老人クラブ連合会では十一月十一日、金木町青年研修所で総会を開き、役員の改選を行ない、会長に高橋松太郎さん（喜良市）が選ばれたほか、金木町関係ではつぎの方方が役員に選ばれました。

▽監事＝中谷与右エ門（川倉）▽理事＝田中勇吉（金木）今健佐久（喜良市）白川春之助（嘉瀬）沢田茂太郎（金木）



【老人クラブ総会】

十一月の納税

十一月三十日
固定資産税　四期

全国民謡民舞大会

奴踊りが優勝

数々の賞品手に帰郷

十一月四日、五日、東京蔵前の国技館で行なわれた日本郷土民謡協会主催の第七回全国民謡民舞大会で嘉瀬の奴踊り保存会（代表＝泉谷正志氏）の「奴踊り」が優勝し、数々の賞を手に帰郷しました。

この大会は、郷土の民謡民舞の保存と発展をはかるため、産経新聞社、日本放送などの後援で毎年開催される権威ある全国大会で、このたびの「奴踊り」の偉業は高く評価されています。

奴踊り保存会は、一昨年五位、昨年三位と上位入賞をしめており、出場三年目にして優勝をかざったわけで、審査員の間でも絶讃を博したといわれ、町民もおしみない拍手を送っています。

出場した十四人の一行は十一月七日、日本郷土民謡協会長賞、文部大臣賞など数々の賞を手に帰郷しました。

【賞品を手に役場を訪れた保存会の方々】

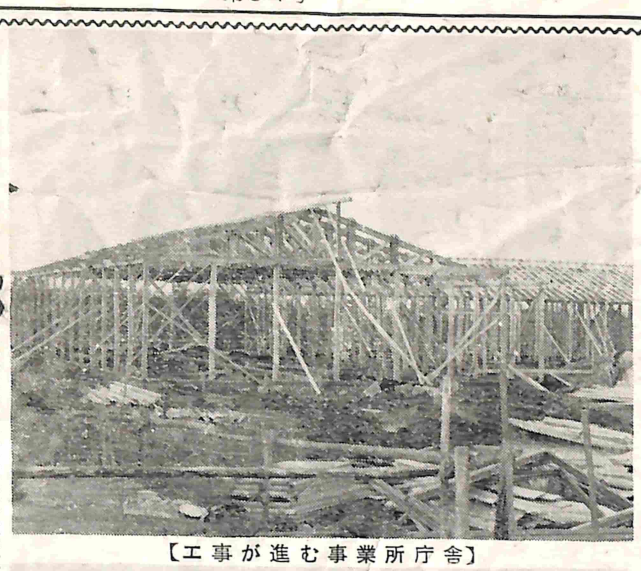
奴踊り保存会代表泉谷氏の話＝優勝を目ざして日頃練習を重ねてきたかいがありました。今後ますます「奴踊り」の保存に力を入れたいと思っています。

出場した方々の氏名はつぎのとおりです。

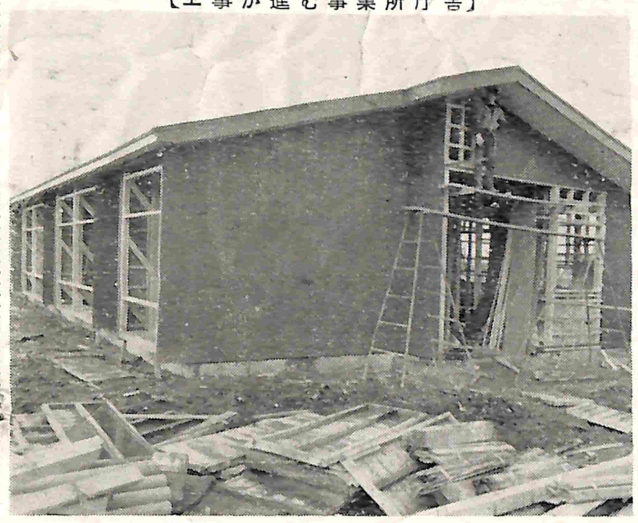
泉谷正志、山中満衛、成田善蔵、山中稔、棟方盛栄、平川すよ、山中スエ、山中リセ、広瀬キエ、山中サヨ、鳴海つや、鳴海幸子、花田セイ、山中悦子

庁舎の建築工事進む

小田川農業水利事業所



【工事が進む事業所庁舎】



【間もなく完成の職員寮】

金木町若松町に建設を進めている小田川農業水利事業所は十二月中旬に完成の予定ですまた、朝日町に建設している職員寮は今月中にも完成の見込みです。

南中で防火訓練

避難・出動とも良好

金木町消防団では十月三十日、南中学校で防火避難訓練を行ない成果をあげました。

訓練は、南中体育館附近から火災が発生したとの想定で、消防車の出動や生徒の避難を中心に行なわれました。

午前十時かっきり、消防屯所に火災発生を告げる電話が入ると、待機していた六台の消防車がサイレンを鳴らし直ちに現場に向いました。到着まで六分、到着から放水態勢まで一分とまずまずの成績でした。

一方、学校では警報器を合図に、各担任の先生に誘導され、六百七十二名の全生徒が校舎後の空地に避難し、終わるまで五分、その前に校内の消火栓からはすでに放水が始まっていました。

このあと校長先生や中村消防団長の講評があり、訓練は成功のうちに終わりました。

【南中の防火訓練】

小作料の改定

水田4倍　畑2.5倍に

ことしの9月1日から統制小作料が改定されました。

最近における生産条件、農産物の価格条件などの変化によって、これまので小作料は現状にそわないので新しい小作料に改正されたものです。

新しい統制小作料は田の場合、これまでの小作料の4倍に、畑の場合は2.5倍になりました。

小作料の額はそれぞれの田、畑の等級によって異なるが、例えば当町の田の平均的な6級地10アール（1反歩）あたり4,476円（現行1,119円）と4倍となり、畑の平均的な6級地で1,680円（現行672円）となります。

今回の小作料値上げは戦後4回目（昭和20年、25年、30年）で30年の改定以来12年ぶりです。

次の表は当町田、畑の等級別の小作料です。

田の部			畑の部		
農地等級	10アール当り 新	1反歩当り 旧	農地等級	10アール当り 新	1反歩当り 旧
5級	4.720	1.170	3級	1.973	783
6級	4.476	1.110	4級	1.875	744
7級	4.236	1.050	5級	1.778	705
8級	3.992	990	6級	1.680	666
9級	3.752	930	7級	1.580	627
10級	3.508	870	8級	1.483	588
11級	3.268	810	9級	1.385	549
12級	3.024	750	10級	1.285	510
13級	2.784	690			

注　この表は、旧額を1反歩（9.91アール）で表わし、新を10アール（1反3歩）で表わしたものです

支部長に泉谷氏

防犯協会川倉支部

このほど川倉児童館で結成総会を開き、町消防団第二分団員三十五人で組織し役員を次のとおり選びました。

▽支部長＝泉谷与右工門▽副＝対馬要治、其田義直▽理事＝泉谷一美、中谷文雄、中谷政弘、泉谷竹彦（兼書記）▽監事＝其田輝夫、泉谷豊美、白川徳政▽顧問＝泉谷正義（区長）葛西武男（学校長）奈良英治（駐在所巡査）相馬京子（連合婦人会長）白川豊光（青年団長）

☆　☆

交通事故にあいやすい子ども

調べによると、次のようなタイプの子どもは、交通事故にあいやすいそうです

○衝動性（粗暴、けんか早い、あばれん坊）

○動揺性（注意力が散漫で動作が鈍い）

○幼稚性（知能は進んでいても、社会的には赤ちゃん）

○遅鈍性（運動神経がにぶい）

○反抗性（何にでも反抗する）

また、一日のうちで子どもの交通事故のもっともおこりやすい時間は、午前十一時から十二時と、午後四時から六時だといわれます。つまり、お母さんの忙しい時間です。くれぐれも注意のほどを。

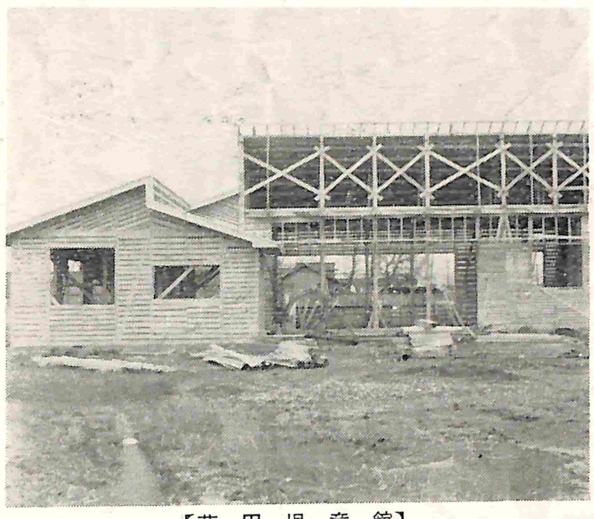
（NHK「生活の知恵」より）

蒔田児童館

十二月には完成

蒔田小学校辮りに建設を進めている蒔田児童館は、十二月中旬に完成の予定です。

木造モルタル塗り平屋建て、百八十五平方メートル（五六坪）の建物で、開設は新年度からの見通しです。



【蒔田児童館】

火事の場合は119番へ

金木町消防屯所では、火事の通報専用電話119番を設置しました。火事の場合はあわてずに、119番を回し、発生場所をお告げ下さい。なお、一般通話の場合は232ノ番をご利用願います。

どなたでも利用できる温泉保養所

浅虫と黒石に健康保険の温泉保養所があります。職場のグループで、ご家族のレジャーに、いつでもご利用下さい。

△所在地
浅虫保養所（浅虫駅から徒歩三分）
つがる荘（黒石市落合温泉）

△申込み先
浅虫は県庁内保険課（電話二局二一一一番）、つがる荘は弘前社会保険事務所（電話二局四一五四番）

△利用料（入湯税、暖房料含ます）
一泊二食付　六〇〇円
日帰り　一〇〇円

保険税について

金木町の国民健康保険は昭和四十一年から全世帯員七割給付を実施していますが、受診率の上昇が著しく、別表①でも分かるとおり、給付費（役場で医者に支払う金）も毎年うなぎのぼりに上昇し、保険会計の台所が非常に苦しくなっています。

昭和四十二年度においては、前年にくらべて一千五百万円以上も余計支払いしなければならない見込みで、このうちの約六十％は国の補助が期待されますが、あとの分四十％約六百万円はどうしても被保険者の税金でまかなわなければなりません。このためやむを得ず、別表②のとおり税率を改正しました。

なにかと出費の多い昨今ではありますが、事情をおくみとりのうえ、保険税の納付について何分のご協力をお願いします。

―保険課―

表①

年度	費用額	給付費	増減額(率)
40	72,360千円	42,726	
41	86,922	60,365	17,639(14.2%)
42	103,000（見込み）	75,600	15,235(12.5%)

表②

項目	旧税率	新税率	摘要
所得割	2.04/100	2.42/100	
資産税割	16.62/100	19.5/100	
平等割	1,743円	2,050円	1世帯当たり
均等割	868円	1,030円	1人当たり

町税完納推進月間

金木町では十一月一日から十二月二十五日までを町税完納推進月間として、町税の完納を推進することになりました。

十月三十一日現在で、昭和四十二年度町税の賦課額は町民税一千六百八十五万二千円、固定資産税二千四百三十二万六千円、保険税二千九百五十万円で、このうち収入済額はそれぞれ五百九十万三千円（収入歩合三十五％）六百一万七千円（二十五％）三百六十一万九千円（十二％）となっております。

町ではこの期間内に町民税八十五％、固定資産税七十五％、保険税六十％以上の納税を達成する目標をたてており、納税者の協力を望んでいます。

―税務課―

狂犬病の予防注射

五所川原保健所ではつぎの日程で狂犬病の予防注射を実施します。

☆十一月二十八日　午前十時から午后二時まで
金木町役場前

☆十一月二十九日　午前十時から十二時まで
喜良市支所前

☆十一月二十九日　午后一時から三時まで
嘉瀬支所前

現在金木町には四、五百頭の犬が飼育されていると推定されていますが、このうち百八十六頭より登録されていません。狂犬病の予防注射と犬の登録は義務づけられています。犬を飼育している方はこれらのことを忘れず実行するよう保健所では望んでいます。

―民生課―